

放課後等デイサービス事業所における自己評価(公表)

公表:令和8年2月16日

事業所名 あゆっこ江津

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏 まえた改善内容又は改善 目標
環境・ 体制整備	1	利用定員と個人プログラムを行うスペースとの関係が適切であるか	4			活動するには十分なスペースが確保してある。	
	2	職員の配置数は適切であるか	1		3	配置が少ない分、全員で声をかけ合って、スケジュール等の調整をしている。 人員の補充がなく、一人ひとりの業務負担が大きくなっている。	増員のため職員の募集は行なっている。 職員を増やす。
	3	事業所の設備等についてバリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	1		子ども1人ひとりに合った環境調整を行なっている。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	3	1		目標振り返りシートを用いて、年度始めに目標設定、年度末に振り返りを行ないながら、個々の成長につながるように努めている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4			保護者にもアンケートを実施し、ホームページにて内容を公開している。 年に一度評価をしてもらい、事業の改善に努めている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4			自己評価はホームページにて公開して、誰でも見ることができるようになっている。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	1	2		第三者による外部評価の実施を検討していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4			研修に参加できなかった職員へは伝達研修を行ない、職員全体の資質向上に努めている。 必要な研修や受講したい研修には参加できるように、その日の業務の調整を行なっている。	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4				
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4				
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	2	1	1	プログラムは、担当が個人で立案しているが、振り返りの中で、助言をもらったことを取り入れている。 個別プログラムのため、立案をチームで行っていないが、サポート等が必要な子どもに対しては事前の打ち合わせをしている。	
	12	活動プログラムが固定化されないよう工夫しているか	4			それぞれの子どもの合わせた環境調整や課題設定を行ない、状況によってステップアップしている。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏 まえた改善内容又は改善 目標
適切な 支援の 提供	13	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3	1		毎回ではないが、見守りやフォローが必要な児には、打ち合わせを、より丁寧に行なっている。 朝のミーティングで、来園予定児の確認等を行なっている。	職員一人でケースを抱えこまないように、日々の情報共有や定期的な話し合いができればよいようにしていく。
	14	支援終了後には、職員間でその日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	2	2		毎回ではないが、様子の気になる点について、伝え合うようにしている。 支援終了後に必ず…、ということはないが、気付いたことや感じたことは伝え合うようにしている。	
	15	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4			気付いた事、保護者からの話なども記録に残し、今後の支援に取り入れている。	
	16	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4			一人の子どもに対して、半年ごとにモニタリングを行ない、支援の見直しを行なっている。	
	17	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	4				
関係機 関や保 護者 との 連 携	18	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4			日頃関わっているスタッフ、または児童発達支援管理責任者が参画している。	
	19	学校との情報共有（学校訪問など就学後のフォロー）を適切に行っているか	4			全員ではないが、ニーズに合わせて訪問をしている。	
	20	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	2		派遣型の利用児において、主治医と連携体制を整えている。	
	21	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園との間で情報共有と相互理解に努めているか	2		2		必要に応じて対応していく。
	22	発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2		2	他事業所へ行き、見学や助言をいただいた。 発達障害者支援センター主催の研修を受けている。	
	23	地域自立支援協議会等へ積極的に参加しているか	1		3		必要に応じて参加していく。
	24	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4			活動後に保護者と話をする時間を設け、活動の様子を伝えたり、学校での様子の聞き取りを行なったりしている。	
25	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	1	1	来年度実施に向けて、職員で研修・勉強をしている。今年度は、情報交換や悩み相談、つながりが持てる場として茶話会を行なった。 来年度、実施できるように勉強会等を職員間で行なっている。 今年度ペアトレ研修を受けた職員が定期的に伝達研修を行なっている。	来年度の実施に向け、伝達研修や実践研修を継続して行なう。	

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏 まえた改善内容又は改善 目標
	26	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4			重要事項説明書の中で一つ一つ丁寧な説明に努めている。	
	27	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4			相談があった場合はその都度対応をしている。	
保護者への説明責任等	28	子どもや保護者からの相談や申し入れについて対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4				
	29	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	2			事業所全体の会報はないが、センターのSNSを通して、茶話会のことなどを発信している。LINEを使用して、活動の様子などを伝えている。	今後もセンターのSNSやあゆこのLINEを通して、活動の様子などを発信していく。
	30	個人情報に十分注意しているか	4				待合で保護者と話をする時は、声の大きさや個人名を出さないことなどに配慮し、個人情報漏れしないようにする。
	31	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4				
	32	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2			センターの行事として、フェスタや学園祭を行なっている。	今現在は感染対策のため、ご家族以外の立ち入りを制限している。
	33	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	2			いつでも確認できるよう、療育室前に掲示してある。	センターが策定しているマニュアルに基づいて対応している。
非常時等の対応	34	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか	3			センター内で毎月1回行なっている。	定期的に非常時の訓練を行っており、状況によって参加している。
	35	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4			定期的にセンターで実施している虐待研修を受けている。	
	36	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3			センター内で行なっている。定期的にヒヤリハットの事例を回覧し、一人ひとりが内容を把握するよう努めている。	